

四中だより

夢に向かって、人生の基礎を築き、大きな翼を育む学校
校訓 自主・自律 協同

新座市立第四中学校学校だより 令和5年11月1日 第8号
TEL 048-477-6053 URL <https://j-daiyon-c-niiza.edumap.jp/>



より成熟した社会を目指して

校長 鮫島 弘樹

「ここでスリッパに履き替えてください」「ここに荷物を置かないでください」「ドアはゆっくりお閉めください」「ぶつからないようお気をつけください」

長らく私のかかりつけだったある歯科医院は、通う度に「よくもここまで」と苦笑したくなるほど、待合室から診察台の周辺まで、ありとあらゆる場所に細かく注意書きのラベルが貼られていました。

この歯科医院に限らず、「ここはボール遊び禁止です」「商品に触れないでください」など、世の中は実に様々なきまり事や約束事であふれています。そして、それらは大きく2種類に分けられます。

1つは「シートベルトを着用すること」のように、命や安全を守るため、否定する余地のないものです。

もう1つは「朝6時より前にゴミを出さないこと」のように、全ての人が納得する訳ではなくとも、なるべく多くの人が心地よく過ごせるように、大多数の理解と賛同を得て決められているものです。

後者のようなきまり事が多ければ多いほど、また、細かければ細かいほど、その社会は未成熟であるといえます。

私達は、ルールなどほとんどなくても誰もが心地よく、安心して生活できる、成熟した社会を目指しているはずです。

間もなく、第四中学校の新しい「生活のきまり」の試行が始まります。

生徒会本部と中央委員会を中心に、これまで1年以上かけて議論を重ね、練り上げたものです（HPに掲載しました）。

10月末に臨時生徒総会を開催し、四中生の大多数により承認された改正案について、私もゴーサインを出しました。

四中生たちの関心が最も高いのは、おそらく服装や髪型の項目でしょう。例えば髪型については、従来のきまりが

「清潔感があり、華美でない中学生らしい髪型とする」

であったのに対し、新たなきまりでは**「健康状態が確認でき、表情が隠れないものとする」**

とされています。表現は異なりますが、その趣旨に大きな違いはないように思います（「染髪はしない」など、どちらもいくつかの附則が設けられています）。

ただ、大きく異なるのは、従前のきまりは、私たち教員が定めて生徒に示していたのに対し、新たなきまりは、私たちも関わりつつ、生徒たちが中心となって議論し、定めたものであるという点です。

中心となって進めてきた生徒たちは、大きな達成感を得られたことと思います。しかし、本当に大事なのはここからです。

学校は大勢が集い、様々な活動を伴う学びの場です。そのことを踏まえた上で、新たなきまりを自治的、主体的に運用していくために、これから先も「四中生としての在り方」について、生徒達自身の模索が続けられていくはずです。

そうした活動を支援しつつ、もちろん私達も必要な指導を続けていきます。

ご家庭でもぜひ、新たな「生活のきまり」の内容や適用について、折に触れて話題にしていいただければと思います。